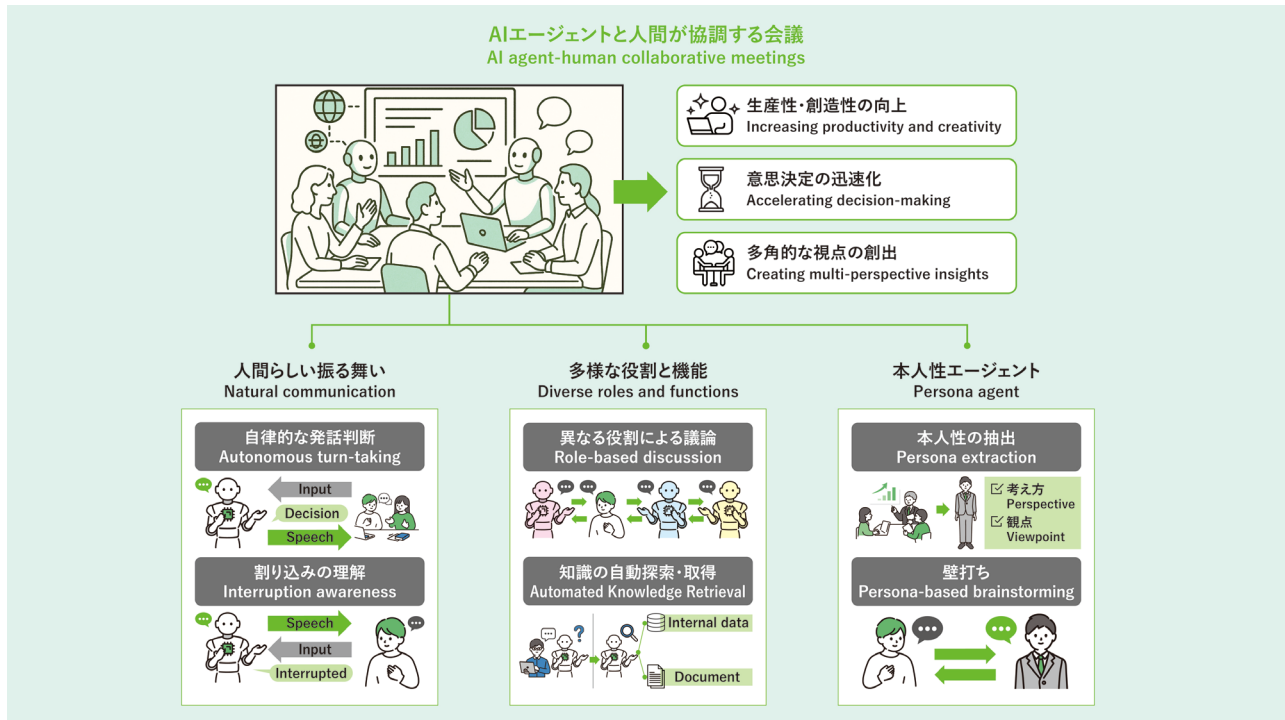


人間らしくふるまうエージェントが自律的に議論や情報収集を行い会議の質を高めます 音声対話型会議支援エージェント

背景 - 技術課題

近年の会議では、リモート会議の普及による会議時間の増大、資料や情報の多様化による社内知識活用の複雑さ、意思決定の迅速化や多角的な視点の創出の難しさが課題となっています。議論や合意形成・情報収集など人間が担う働きを助け、会議の質や効率を高めるには、人間と協働する会議特化のエージェントが必要です。



研究目標 - 成果

会議における多角的な議論や情報収集などを人に代わりエージェントが担うことで、人とAIが協働する新しいスタイルの会議を実現します。

技術ポイント

01 要素技術

- 発話契機判断等のエージェントが人間らしく振る舞う技術
- 会議特有の役割や機能をエージェントに付与するマルチエージェント技術
- 個性を特徴化し本人を代替するエージェントの構築手法

02 市中技術差異点

エージェントが会議に参加し、リアルタイムの会議内容に応じて議論や情報収集を行い、合意形成や意思決定を手助けする世界初の会議支援エージェント

利用シーン マルチインダストリー

R&Dフェーズ 研究

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 FY25-26

【出展企業】
株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部

【共同出展社/社外連携先】
—

【問い合わせ先】
サービスイノベーション部 メディアAI担当

【関連Link】
—